

休日当番病・医院

1月22日(日)

- ◆内科 吉川医院 34-4565
表町
◆外科 光洋いきいきクリニック 71-2700
光洋町
◆歯科 いずみの歯科クリニック 76-0178
川沿町

診療時間：内科・外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時
本紙は、毎週火曜日に編集しますので、その後に休当番医が変更になってもお知らせすることはできません。
ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談



親身な相談で定評

1月25日(水)
小野寺信勝弁護士

(定員になり次第締め切りです)
日本共産党小牧地区委員会
小牧市見山町2-2-6 申込 56-5002

しんぶん赤旗読者のための

日本共産党

民主苦小牧

発行 日本共産党小牧地区委員会

小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086

日本共産党のホームページ
http://www.jcp.or.jp
小牧市議会ホームページ
http://toma-jcp.sakura.ne.jp/
eメールアドレス
commun@rose.ocn.ne.jp



市民から防災スピーカーが聞こえないとの声が寄せられています。日本共産党の富岡隆議員は、12月の市議会・安全安心特別委員会で、災害時に正しい情報を一人でも多くの市民に発信する防災行政無線の総括と改善策について理事者の姿勢をたどりました。

市の担当課は、チャイム音の改良や、放送スピード及びボリューム4(文字量)の見直し、音割れしないギリギリの音量調整などの対応を行ってきたと説明。「一部の人が



どこにいても聞こえる防災無線の改善を

市議会安全安心委

富岡議員 災害時に命を守る提案す

らチャイム音については、大分聞こえるようになったと聞いているので、一定の成果はあったと認識している。一方、まちかどミーティングや町内会連合会などから、風向きの影響で何を言っているのか聞き取りにくいとの意見も出されており、引き続き改善する必要があると考えている」と答えました。

富岡委員は、スピーカーの位置を変え、住んでいる人が実際に聞こえるように範囲などを改善することを提案しました。担当課は、「音量の調整や個別の対応をとってきたが、機械音声と肉声との比較検討を行い、肉声の音がよく聞こえるとの意見も出ていますので、検討する余地がある」と答えました。

デジタル化に伴いこれまでの防災ラジオに代わる個別受信機が1万台の内、有償610台、無償2509台と3割しか普及していません。市は、「携帯電話やスマートフォンで情報が入手されているのが要因の一つ」とのべながら、「高齢者は個別受信機の方が有効

原発推進に抗議

紙さんは、「戦争か平和か、多くのみなさんが胸を痛めて

「やさしく強い経済に」「大軍拡政治ストップ」と書いたプラスターを掲げながらアピールすると、駅を利用する人らがビラを受け取っていました。



札幌駅前て訴える島山、紙、岩淵の各氏(12日)

岸田政権の大軍拡追及します

紙・岩淵・島山氏が訴え 平和暮らし壊すな

と思われるので、避難行動要

支援者制度を通じた周知をすめ、普及に努めたい」と答弁。同時に、個別受信機の使い方については、講習会や説明会などで積極的に対応していく考えを明らかにしました。

いるのでは」と語り始め、岸田内閣が閣議決定した安保3文書について「専守防衛の考え方を180度転換する中身」と強く批判。「防衛整備計画では、トマホークなど兵器に2000億円を超える税金を注ぎ込もうとしている」と語り、23日から召集される国会でしっかりと追及していく決意を表明しました。

岩淵さんは、昨年は5年ぶりに道内企業の倒産が増えたと指摘。最低賃金の時給1500円への引き上げと中小企業支援を行い、「大企業の内留保に限定的に課税して財源をつくり出す」などとする日本共産党の提案を紹介し、「大軍拡と大増税は平和と暮らしを壊すものであり、許すわけにはいきません。北海道からいっしょに声をあげていきましょう」と呼びかけました。

島山さんは、岸田首相の『異次元の少子化対策』について、若者が高い学費に苦しめられ

ほんの紹介

◆排他的でなく 包摂的な平和の枠組みを 志位和夫(日本共産党出版局)260円(税込) 憲法九条を生かして東アジアの平和を構築するという外交ビジョンを提唱している日本共産党が、アジア政党国際会議で「戦争の心配のないアジア、核兵器のない世界をめざして」を提案。外交不在、軍事一辺倒の岸田自公政権に対し、大軍拡・改憲を許さないたたかいを発展させるうえでも、力になるパンフレットです。対話と交渉こそが紛争解決の唯一の道。

マイナカード強制になる健康保険証の廃止 撤回を 日本共産党



熱い連帯で労組の役割発揮だ

苦春闘共闘会議が闘争宣言集会 賃上げ実現



大学教職員組合の小林守委員長は、解雇撤回を求める訴訟の現在の状況を報告し、これからのたたかひに向けての決意を表明しました。

「旗開き」では、渋谷美和子副議長(全教いぶり)が乾杯の音頭を取り、苦小牧マジック同好会のバロン坂下氏のあざやかなマジックが会場をなごませました。日本共産党の森本健太青年学生部長をはじめ来賓のみなさんの熱い連帯のあいさつが続き、各単組

のりレイトークで会場は盛り上がり、春闘へのエネルギーをつちかいました。

森本青年部長はあいさつで高卒後就職した職場で17時間労働を経験するも労組はなく、労働相談できる地区労連の存在、活動に敬意を表明。

「日本共産党は、岸田政権の大軍拡、戦争国家づくりを許さず、物価高騰から暮らしを守り、賃上げに向けて奮闘する決意です。春の統一地方選挙では共産党の躍進めざし、希望がもてる社会実現のためにがんばる決意です」と支援を訴えました。

みんなでつくる春闘成功に向け団結を固めました。

非核平和条例 今こそ重要

苦小牧市で全国の集い 核共有許さず

ワークショップ「非核条例を考える全国の集い」平和は未来のこどもたちへの贈り物

が12月10日、北海道唯一、非核平和都市条例をもつ苦小牧市で初開催し、全国をオンラインで結びました。

「日本における1980年代以降の反核平和運動と地方自治体」をテーマに研究している大阪大学大学院文学研究科博士課程の浜恵介さんが沖縄返還50周年と苦小牧非核条例制定20周年にあたり、基調講演しました。

条例制定時の鳥越忠行元市長があいさつ。沖田龍児元道議が司会し、立場を超えた人たちが交流しました。

浜さんは、非核宣言が2500自治体以上あるが、核兵器の排除を規定した条例を定めているのは苦小牧市を含めて3自治体のみであり、市民運動が作りあげた歴史を評価しました。

ロシアによる核脅迫と安倍元首相や維新の会の「核共有」論などの逆流に、非核条例が自治権をもとに市民の意見を反映させていく重要性を強調。「非核化に取り組む全国

インボイス 実施中止を 日本共産党

各地で緩やかに連帯していきましようと呼びかけました。

命と平和の鐘設立を願う苦小牧市民の会の石塚茂子さんが「非核平和都市条例20周年記念の鐘」の設置が実現するに至った経緯を語りました。

兵庫県からは入港するすべての艦船に「非核証明書」の提出を義務づける「非核神戸方式」を報告。石垣市からは自治体が拒否しても米艦船が強行入港したと告発しました。

函館市から日本共産党の紺谷克孝市議が報告しました。

国会かけある記 紙ともこです

年明けから東京と北海道の往来がつづいています。4日から5日と東京で会議、6日は北農連の新年交礼会、党北海道委員会の旗開きで130%の党づくりへの決意を固めました。

翌日は別海町、8日は札幌市白石区の成人式に参加しました。

10日は東京に戻り、国会議員団会議に出席。12、13日は、札幌市で諸団体を訪問し、岸田政権が突き進む大軍拡、戦時体制を許さない運動を呼びかけながら、各団体の取り組みや要望を聞き、意見交換をしました。

農民連、北農連、原発連、高教組、道教組、自由法曹



大軍拡反対の 国民的大運動に

団、新日本婦人の会、道生連、道労連、戦争させない市民の風・北海道のみならずと意見交換。改めて、各団体の活動の役割の大きさを痛感させられました。

農民連では、とくに酪農家の離農が相次いでいること、この現実を打開すべく1月の全国会議に向けた取り組みが語られました。北農連では「税制改正大綱」の法案に納税者の自由な自主申告運動を弾圧しかねない改悪への警戒と阻止への決意が表明されました。

原発連は、岸田政権の原発政策の大転換を批判。泊原発を再稼働させない運動、核のゴミ問題にふれて、原発ゼロ、再生可能エネルギーへの転換の取り組みが出されました。

市民の風・北海道とは初じめての懇談となりました。「新しい戦前にさせない」「軍拡でなく、戦争を起こさない方法について国民にわかってもらうことが大事」と。各団体から「わかりやすい押し出しで国民的な大運動に」とお互いに決意を固め誓い合いました。

紙智子(かみ・ともこ) 日本共産党参議院議員

2.11 反戦平和集会
アフガニスタンの女性運動のいま
 講話 清末 愛砂さん (入場無料)
 ◆室蘭工業大学教授(憲法学・ジェンダー法学)
 ●2月11日(土) 午後6時
 ●アイビープラザ 講習室
 ※マスク着用を
 主催: 思想と信教の自由を守る苦小牧市民会議
 丸 徹代表 Tel 32-4509



市民の風・北海道の人たちと懇談(13日)

中学卒業まで通院に助成を。「乳幼児等医療費助成制度の年齢拡大を求める署名」に「協力をお願いします。」